

ドキュメンタリー映画

# 「ザ・思いやり」特別上映会@東京

一人のアメリカ人が米軍への“思いやり予算”の疑問に挑む!!



日本の経済が困難な状況の中で、なぜ日本人がここまでアメリカ軍を思いやらなければならないのでしょうか？

アメリカとの条約においては一切義務付けられてない「思いやり予算」は1978年から始まり、日本人が自ら働いて支払っている税金から在日米軍へ6兆円以上が投入されてきました。

米兵一人当たりになると、年間1500万円という膨大な額は、ほとんどがアメリカ軍人の贅沢な生活を支援するために使われているのです。

この映画では、「思いやり予算」の不条理さと矛盾を様々な視点から、鋭く、そしてユーモアたっぷりに日本人に問いかけていきます。



私がバクレーです

## 3月31日(木)

### 千駄ヶ谷区民会館

① 14:00～ ② 18:30～

(各回 30分前開場)

★バクレー監督舞台挨拶あり

(各回上映後)

◆ 800円(資料代)



(JR 原宿駅竹下口より徒歩6分)  
(会場電話: 03-3402-7854)

### 知ッテイマスカ？

在日米軍家族のための住宅、小・中学校、教会、銀行、ゴルフ場、マクドナルドなどの施設に税金が使われていることを電気、水道、ガス料金は使い放題、遊びでも有料道路料金がすべてタダだということ、米兵による凶悪・暴行事件の賠償金にも使われていることを

全国絶賛上映中!

主催  
お問い合わせ

渋谷民主商工会/共同映画株式会社 渋谷区渋谷 2-5-12-505 (☎03-5466-2311)

「ザ・思いやり」事務局 平沢 (☎090-4123-2563) 佐藤 (☎090-2625-8775)